

採用試験手続きの電子化 ～行政デジタル化の第一歩～

【総務部職員課SWITCHプロジェクト】

総務部職員課 空閑 圭

取組内容

【取組内容】

- 電子申請による採用試験の受付
- 電子媒体（メール）による受験票等の送付
- 面接におけるPCの利活用
- 上記、事務処理におけるRPAの利用

【事業効果】

- いつでもどこでも申請可能に（申込が簡単！）
- 事務処理の効率化、即時性での通知が可能
- 郵便料金、印刷等のコストカット！

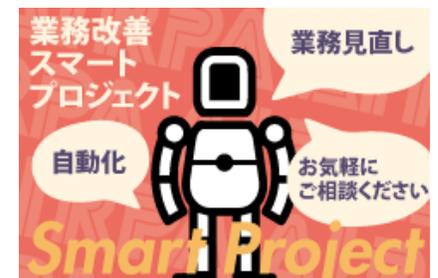
改善による 事務処理比較

従前のやり方

- ①申込書の入手（印刷など）
- ②申込書の記入
- ③郵送等による提出
- ④申込書受理、システム入力
- ⑤受験票作成、印刷
- ⑥受験票の送付
～第一次試験後、第二次試験～
- ⑦申込書をコピー（面接官分）
- ⑧面接試験評定（紙ベース）
- ⑨結果の集計（手計算）
- ⑩決裁
- ⑪公印押印、郵送

改善後のやり方

- ①試験案内の確認（市ホームページ）
- ②試験申込入力（ぴったりサービス）
- ③申請データダウンロード
- ④受験票作成、受験票送付（RPA）
～第一次試験後、第二次試験～
- ⑤パソコンに申込書等登録
- ⑥面接試験評定（パソコン入力）
- ⑦結果の集計（エクセル）
- ⑧決裁
- ⑨結果送付（RPAによるメール送付）



改善のきっかけ

《情勢・課題など》

- 行政デジタル化の推進（DX推進室の新設）
- 民間企業などの採用エントリーは電子申請が当たり前
- 手書きの申込書を作成するのが受験者のハードルに（受験者減に？）
- 業者からの採用管理システムの案内
 - 導入したい。でもコストが・・・
- マイナポータルを利用した電子申請活用の案内

改善 ～その①～

電子申請による採用試験の受付

※かかったコスト0円

■マイナポータル・ぴったりサービスの活用通知

■ホームページ、試験案内等から電子申請へ

■採用試験案内の紙ベースの印刷、配布終了

 印刷・配布にかかる事務費削減

■採用試験案内の様式変更

■電子申請のみで受付（紙ベースでの受付はしない）

◎苦勞した点・工夫した点など

- ・初めて扱うシステムの処理方法が分からない
 - とにかくお尋ね（子ども未来部・DX推進室・ヘルプデスク・他自治体）
- ・紙ベースでの受付を行わないこととして問題ないか
 - 結果として、問い合わせ等なし

改善 ～その②～

RPAによる受付データ処理

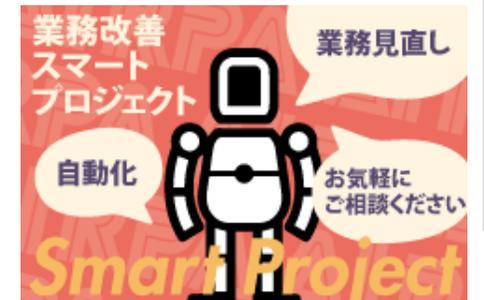
※かかったコスト0円

- 電子申請で受け付けたデータの活用
- CSVデータの抽出のみ（帳票形式での出力不可）
- システム入力の廃止 RPA（ロボット）による処理
- 結果通知のメール送付（RPAによる処理）

☞ 郵便料金削減、公印押印作業の省略

◎苦勞した点・工夫した点など

- ・受付したデータが使いづらい（とにかく楽をしたい）
- ・DX推進室との打ち合わせ
- ・過去に使用したデータを活用した通知の作成
- ・DX推進室のスマートプロジェクトのおかげ



改善 ～その③～

面接試験によるパソコンの活用

※かかったコスト0円

- 電子申請で受け付けたデータの活用
- 集計結果の手計算の煩わしさ
- 申込書等のコピーが大変
- 結果の保存、検索が容易に

 コピーにかかる費用、手間の削減

◎苦労した点・工夫した点など

- ・結果集計がすぐにできる（事務効率化）
- ・改善①・②がきっかけで、デジタル化の mindset へ
- ・画面上で申込書の確認や結果入力の不慣れ感
→ やってみればすぐに慣れた

更なる改善に
向けて

採用試験のデジタル化は現在進行中

- ・ 1回目よりも2回目。2回目よりも3回目（課題発見⇔改善）
- ・ やって見ないと本当の課題、問題は分からない
- ・ やってみることで新たなアイデアを！！一人ではなくみんなで！！
- ・ 次年度に向けて、ますます進化していきます。

改善に取り組むマインド=まさに **3C** そのもの

改善を広げる
～全庁へ～

職員課のSWITCHプロジェクト 採用試験手続きの電子化



- ・ 消防局、水道局の採用試験でも実施
- ・ スマートプロジェクト（RPA）の便利さを実感
- ・ 採用試験以外の取り組みもデジタル化で効率化

★今回の気づき★

◎やってみなければ分からない。◎みんなでやればできる。◎みんなで考えさらにいいアイデア。◎効率化の実感が更なる改善のきっかけ。◎3Cのマインドで業務改善（デジタル化）。